

水と環境と「水の学校」のこれから

ファシリテーター:「水の学校」名誉校長 橋本淳司氏 (水ジャーナリスト・アクアスフィア水教育研究所プロデューサー)

「水の学校」の締めくくりとして、名誉校長の橋本さんから、近年の水にまつわるトピックスを振り返りながら、山積みとなっている水問題の解決には多様な視点が大切であるというお話と、水の学校サポーターの活動へ激励の言葉が送られました。

ここ数年を振り返ってみると、水害が多く発生しています。2019年は水がどこからきてどこへ行くのかは命に関係する話であることを実感した年でした。台風19号の際、水戸では10/12(土)15:00に雨が上がり、避難していた住民が帰宅しました。しかし同じ流域の上流側で降った雨により、上流では川が増水していました。1日かけて水戸にきた水により、丸一日経った10/13(日)15:00に川が増水して洪水被害に遭いました。自分たちの住んでいる土地の水がどこからきているのか、流域を考えれば、予測できたことです。

台風が北海道を直撃したり、東京湾を進んで大きな被害をもたらしていますが、過去にないコースを進んでいます。台風は海水温の高いところを選んで進みます。コースが変わるのは、海水温に変化が起きているからです。



水にまつわる課題は様々なものがあります。2017年は少雨のち長雨でした。今年も少雨傾向で、このままでは渇水の恐れがあります。2018年は記録的な暑さで、水の消費量が増えました。2019年、琵琶湖の水が冬に十分に冷えず、観測史上初めて「琵琶湖の深呼吸」と呼ばれる、上部と下部の水の入替が起きませんでした。下部の水が死んだ水にならないために、水がきちんと冷たくなるというのは大切なことなのです。これからどのような影響が出るのか、まだわかりません。

熊本市は江戸時代から水政策に重きをおいて、近年は地下水を増やす活動に積極的に取り組み、100%地下水を利用しています。それでも熊本地震では地下水の流れが一度途切れしました。地震で田んぼが壊れて地下水を増やす活動が滞りました。

さて、「水の学校」は今回で終わりです。しかし、このように、水の問題は解決したわけではありません。皆さんの活動をここで止めてはいけません。多摩地区での雨水貯留浸透は大事ですが、それと同じくらい、水源の森林保全は大事です。水の問題には色々な視点が加わっています。武蔵野市で、水の学校サポーターの皆さんが今日の発表であったように色々な視点を持って活動していることは、とても心強いことです。これからも皆さんのスタイルで水について学び、行動を続けてください。そして市民に伝え続けてください。

イベントレポート

11/10(日)むさしの環境フェスタ 於：武蔵野クリーンセンター

11/10(日)、青空市と同日開催した「むさしの環境フェスタ」では、全体でSDGsのシールラリーを行うことで、下水道課ブースを含む多くのブースに立ち寄りいただくことができました。

下水道課のブースでは、下水道や雨に関するクイズ、雨水タンクや雨水浸透ますの展示に加えて、ツマラン管の実験を行いました。ツマラン管の実験は、ティッシュペーパーとトイレペーパーを水の入ったペットボトルに入れて振った後、トイレに見たてた透明な排水管に流します。水の学校サポーターにも協力していただきながら、多くの親子連れの方に楽しみながら参加していただくことができました。参加した方は、トイレペーパーがスムーズに流れるのに対し、ティッシュペーパーを流すと本当に詰まるということを実際に見て驚いているようでした。



2020年11月、環境啓発施設「むさしのエコ reゾート」がオープンします！

平成26年度に開校して以来、水にまつわる様々なテーマを取り上げ、考えを深め、行動につなげる講座として続けてきた「水の学校」ですが、今年度で終了となります。水は自然環境と密接に関係しています。市では、2020年11月、水を含めた自然環境など環境全般について横断的に取り組むため、環境啓発施設をオープンします。今後も様々な情報を発信していきますので、ぜひ市報や公式ホームページなどをチェックしてください。

どこにできる、どんな施設なの？

市役所北側にあるクリーンセンターと同じ敷地にできます。平成28年12月まで稼働していた旧クリーンセンターのプラットホームと事務所棟を再利用して、クリーンセンターのごみと市民参加の歴史を受け継ぐとともに、様々な環境について学び、体験できる施設です。

何ができるの？

講座やイベントに参加するのはもちろん、グループを作って環境についてさらに深く調べてみたり、イベントを企画してみたりすることもできます。ディレクター・コーディネーターが皆さんのやりたいことをサポートします！この施設は講座・イベントの企画から実施、施設の運営に至るまで市民参加型で皆さんと一緒に磨き上げていく施設を目指しています。

令和2年度もオープン前にプレ事業として講座やイベントを開催しますので、ぜひご参加ください！

あいている時間は？

11月にオープンしてからは、午前9時30分から午後5時まで開館する予定です。毎週火曜日と祝日(月曜日は祝日の場合は開館、水曜日休館)、年末年始はお休みとなりますが、土日は開館しているので、お休みの日にもぜひお越しください！

利用に資格(在住、在勤、在学など)は必要？

どなたでも自由に来館できます。施設の貸し出しについては、市内と市外でルールを変えるべきか？ など協議しています。

担当からひとこと

今まで、エコプラザ(仮称)として整備検討してきた環境啓発施設の名前が「むさしのエコ reゾート」に決定しました！皆さんに親しまれる施設となるよう11月のオープンに向けてしっかり準備していきます！



「水の学校」ニュースレターは今回で最終号です！

6年間にわたり、水の学校の様子や水の豆知識をお伝えしてきましたが、いかがでしたか？ 限られた紙面では水の奥深さをお伝えしきれませんでした。掲載した場所は、ぜひ実際に訪れてみてください。そして水の学校サポーターに会う機会があれば、ぜひ話を聞いてみてください。最終号までお読みいただき、ありがとうございました。

「水の学校サポーター」とは？：水の学校連続講座修了生で構成する、水に関する自主活動や「水の学校」の企画・運営を行うグループです。